



## HP エンタープライズ Cloud Insights

NetApp  
April 16, 2024

# 目次

HP エンタープライズ .....	1
HP Enterprise Alletra 9000/Primera Storage データコレクタ .....	1
HP Enterprise Command View データコレクタ .....	3
HPE Alletra 6000 データコレクタ .....	8

# HP エンタープライズ

## HP Enterprise Alletra 9000/Primera Storage データコレクタ

Cloud Insightsは、HP Enterprise Alletra 9000/HP Enterprise Primera（以前の3PAR）データコレクタを使用して、インベントリとパフォーマンスを検出します。

### 用語集

Cloud Insights では、このデータコレクタから次のインベントリ情報を取得します。Cloud Insights では、取得したアセットのタイプごとに、そのアセットに使用される最も一般的な用語が表示されます。このデータコレクタを表示またはトラブルシューティングするときは、次の用語に注意してください。

フィールド	説明
物理ディスク	ディスク
ストレージシステム	ストレージ
コントローラノード	ストレージノード
Common Provisioning Group の 1 つ	ストレージプール
仮想ボリューム	ボリューム

注：これらは一般的な用語の対応のみを示したものであり、このデータコレクタのすべてのケースを表しているわけではありません。

### 要件

このデータ照合を設定するには、次のものがが必要です。

- InServ クラスタの IP アドレスまたは FQDN
- インベントリの場合は、StoreServ サーバへの読み取り専用のユーザ名とパスワード
- パフォーマンスを確保するために、StoreServ サーバへの読み取り / 書き込みユーザ名とパスワード
- ポート要件： 22（インベントリ収集）、5988、5989（パフォーマンス収集）[注：StoreServ OS 3.x + ではパフォーマンスがサポートされます]
- パフォーマンス収集を行うには、SSH を使用してアレイにログインし、SMI-S が有効になっていることを確認します。

### 設定

フィールド	説明
ストレージ IP アドレス	StoreServ クラスタのストレージ IP アドレスまたは完全修飾ドメイン名
ユーザ名	StoreServ サーバのユーザ名
パスワード	StoreServ サーバのパスワード

フィールド	説明
SMI-S ユーザー名	SMI-S プロバイダホストのユーザ名
SMI-S のパスワード	SMI-S プロバイダホストのパスワード

## 高度な設定

フィールド	説明
インベントリポーリング間隔（分）	インベントリのポーリング間隔。デフォルトは40分です。
SMI-S 接続	SMI-S プロバイダへの接続に使用するプロトコル
SMI-S のデフォルトポートを上書きします	空白の場合は、SMI-S Connectivity のデフォルトポートを使用します。それ以外の場合は、使用する接続ポートを入力します
パフォーマンスポーリング間隔（秒）	パフォーマンスのポーリング間隔デフォルトは300秒です。

## トラブルシューティング

このデータコレクタで問題が発生した場合の対処方法を次に示します。

### 在庫

問題	次の操作を実行します
"showsys" コマンドを実行しても結果は返されません。	コマンドラインから「showsys」と「showversion-a」を実行し、バージョンがアレイでサポートされているかどうかを確認します。

### パフォーマンス

問題	次の操作を実行します
接続またはログインに失敗しました。プロバイダの初期化に失敗しました	すべて数値のアレイ名は、SMI-S サーバで原因の問題が発生する可能性があります。アレイ名を変更してください。
SMI-S ユーザが設定されていますが、ドメインがありません	構成した SMI-S ユーザに適切なドメイン権限を付与します

問題	次の操作を実行します
Cloud Insights は、SMI-S サービスに接続 / ログインできないと表示しています。	<p>CIAU とアレイの間に、CIAU と TCP 接続をブロックするファイアウォールがないことを確認します。これが完了し、ファイアウォールがないことを確認したら、アレイに SSH 接続し、「showcim」コマンドを使用して確認する必要があります。</p> <p>以下を確認します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*サービスは有効です</li> <li>*HTTPSが有効です</li> <li>*HTTPSポートは5989にする必要があります</li> </ul> <p>その場合は、「stopcim」を実行してから「startcim」を実行してCIM（SMI-Sサービスなど）を再起動します。</p>

追加情報はから入手できます ["サポート"](#) ページまたはを参照してください ["Data Collector サポートマトリックス"](#)。

## HP Enterprise Command View データコレクタ

HP Enterprise Command View Advanced Edition データコレクタは、Command View Advanced Edition (CVAE) サーバーを使用した XP アレイと P9500 アレイの検出をサポートしています。Cloud Insights は、標準のコマンドビュー API を使用して CVAE と通信し、インベントリデータとパフォーマンスデータを収集します。

### 用語集

Cloud Insightsでは、HP Enterprise Command Viewデータコレクタから次のインベントリ情報を取得します。Cloud Insights では、取得したアセットのタイプごとに、そのアセットに使用される最も一般的な用語が表示されます。このデータコレクタを表示またはトラブルシューティングするときは、次の用語に注意してください。

ベンダー / モデルの用語	Cloud Insights の用語
PDEV	ディスク
ジャーナルプール	ディスクグループ
ストレージアレイ	ストレージ
Port Controller の略	ストレージノード
アレイグループ、DPプール	ストレージプール
論理ユニット、LDEV	ボリューム

注：これらは一般的な用語の対応のみを示したものであり、このデータコレクタのすべてのケースを表しているわけではありません。

## インベントリの要件

インベントリデータを収集するには、次の情報が必要です。

- CVAEサーバのIPアドレス
- CVAE ソフトウェアおよびピア特権の読み取り専用ユーザ名とパスワード
- ポート要件： 2001

## パフォーマンス要件

パフォーマンスデータを収集するには、次の要件を満たしている必要があります。

- HDS USP、USP V、および VSP のパフォーマンス
  - Performance Monitor のライセンスが必要です。
  - 監視スイッチが有効になっている必要があります。
  - エクスポートツール（Export.exe）を Cloud Insights AU にコピーして、場所に抽出する必要があります。CI Linux AUS で、「ciscys」に読み取りおよび実行権限があることを確認します。
  - エクスポートツールのバージョンとターゲットアレイのマイクロコードのバージョンが一致している必要があります。
- AMS のパフォーマンス：
  - Performance Monitor のライセンスが必要です。
  - Storage Navigator Modular 2（SNM2）CLI ユーティリティが Cloud Insights AU にインストールされている必要があります。
- ネットワーク要件
  - エクスポートツールは Java ベースであり、RMI を使用してアレイと通信します。これらのツールは、呼び出しごとに送信元と宛先の TCP ポートを動的にネゴシエートするため、ファイアウォールとの親和性がない場合があります。また、異なるモデルアレイのエクスポートツールがネットワーク全体で異なる動作をする場合があります。ご使用のモデルの要件については、HPE にお問い合わせください

## 設定

フィールド	説明
Command View Server の順にクリックします	Command View サーバの IP アドレスまたは完全修飾ドメイン名
ユーザ名	Command View サーバのユーザ名。
パスワード	Command View サーバのパスワード

フィールド	説明
デバイス - VSP G1000（R800）、VSP（R700）、HUS VM（HM700）、および USP ストレージ	<p>VSP G1000（R800）、VSP（R700）、HUS VM（HM700）、および USP ストレージのデバイスリスト。各ストレージには以下が必要です。</p> <p>*アレイのIP：ストレージのIPアドレス  *ユーザー名：ストレージのユーザー名  *パスワード：ストレージのパスワード  *エクスポートユーティリティJARファイルを含むフォルダ</p>
SNM2Devices - WMS/SMS/AMS ストレージ	<p>WMS / SMS / AMS ストレージのデバイスリスト。各ストレージには以下が必要です。</p> <p>*アレイのIP：ストレージのIPアドレス  * Storage Navigator CLI Path：SNM2 CLIパス  * Account Authentication Valid：有効なアカウント認証を選択する場合に選択します  *ユーザー名：ストレージのユーザー名  *パスワード：ストレージのパスワード</p>
「Tuning Manager」を「Performance」に選択します	他のパフォーマンスオプションよりも優先されます
Tuning Manager Host（ホストのチューニング）	Tuning Manager の IP アドレスまたは完全修飾ドメイン名
Tuning Manager ポート	Tuning Manager に使用するポート
Tuning Manager のユーザ名	Tuning Manager のユーザ名
Tuning Manager パスワード	Tuning Manager のパスワード

注：HDS USP、USP V、および VSP では、どのディスクも複数のアレイグループに属することができます。

## 高度な設定

フィールド	説明
Command View Server のポート	Command View Server に使用するポート
HTTPs が有効です	HTTPS を有効にする場合を選択します
インベントリポーリング間隔（分）	インベントリのポーリング間隔。デフォルトは40です。
「除外」または「含める」を選択してリストを指定します	下のリストに表示されたアレイをデータの収集時に対象に含めるか除外するかを指定します。
デバイスを除外または含める	対象に含めるか除外するデバイスの ID またはアレイ名をカンマで区切ったリスト
ホストマネージャを照会します	ホストマネージャを照会する場合を選択します
パフォーマンスポーリング間隔（秒）	パフォーマンスのポーリング間隔デフォルトは300です。

## トラブルシューティング

このデータコレクタで問題が発生した場合の対処方法を次に示します。

### 在庫

問題	次の操作を実行します
エラー：ユーザに十分な権限がありません	別のユーザアカウントを使用して、権限を追加するか、データコレクタで設定されているユーザアカウントの権限を増やします
エラー：ストレージリストが空です。デバイスが設定されていないか、ユーザに十分な権限がありません	*デバイスが設定されているかどうかを確認するには、DeviceManagerを使用します。 *より多くの権限を持つ別のユーザーアカウントを使用するか、ユーザーアカウントの権限を増やしてください
エラー：HDS ストレージアレイが数日間更新されませんでした	HP CommandView AE でこのアレイが更新されない理由を確認してください。

### パフォーマンス

問題	次の操作を実行します
エラー： *エクスポートユーティリティの実行中にエラーが発生しました *外部コマンド実行中にエラーが発生しました	*エクスポートユーティリティがCloud Insights Acquisition Unitにインストールされていることを確認します *データコレクタ設定でエクスポートユーティリティの場所が正しいことを確認します * USP/R600アレイのIPがデータコレクタの設定で正しいことを確認します *データコレクタの設定で、ユーザ名とパスワードが正しいことを確認します *エクスポートユーティリティのバージョンがストレージアレイのマイクロコードのバージョンと互換性があることを確認してください * Cloud Insights Acquisition UnitからCMDプロンプトを開き、次の手順を実行します。 -ディレクトリを設定済みのインストールディレクトリに変更します -バッチファイルrunWin.batを実行して、設定されているストレージアレイとの接続を試行します
エラー：ターゲット IP のエクスポートツールのログインに失敗しました	*ユーザー名/パスワードが正しいことを確認します *主にこのHDSデータコレクタのユーザIDを作成します *このアレイを取得するように他のデータコレクタが設定されていないことを確認します
エラー：「Unable to get time range for monitoring」というメッセージが表示されます。	*アレイでパフォーマンス監視が有効になっていることを確認します。 * Cloud Insights の外部でエクスポートツールを起動して、問題が Cloud Insights の外部にあることを確認してください。



問題	次の操作を実行します
<p>エラー：</p> <p>*構成エラー：ストレージアレイはエクスポートユーティリティでサポートされていません</p> <p>*構成エラー：ストレージアレイはStorage Navigator Modular CLIでサポートされていません</p>	<p>* サポートされているストレージアレイのみを構成します。</p> <p>* サポートされていないストレージ・アレイを除外するには ' フィルタ・デバイス・リストを使用します</p>
<p>エラー：</p> <p>*外部コマンド実行中にエラーが発生しました</p> <p>*構成エラー：ストレージアレイがインベントリで報告されていません</p> <p>*設定エラー：エクスポートフォルダにjarファイルが含まれていません</p>	<p>* エクスポートユーティリティの場所を確認します。</p> <p>*対象のストレージアレイがCommand Viewサーバで設定されているかどうかを確認してください</p> <p>*パフォーマンスのポーリング間隔を60秒の倍数に設定します。</p>
<p>エラー：</p> <p>*ストレージナビゲータCLIでエラーが発生しました</p> <p>* auperformコマンドの実行中にエラーが発生しました</p> <p>*外部コマンド実行中にエラーが発生しました</p>	<p>* Cloud Insights Acquisition UnitにStorage Navigator Modular CLIがインストールされていることを確認します</p> <p>*データコレクタ設定で、Storage Navigator Modular CLIの場所が正しいことを確認します</p> <p>*データコレクタの設定で、WMS/SMS/SMSアレイのIPが正しいことを確認します</p> <p>* Storage Navigator Modular CLIバージョンが、データコレクタに設定されたストレージアレイのマイクロコードバージョンと互換性があることを確認してください</p> <p>* Cloud Insights Acquisition UnitからCMDプロンプトを開き、次の手順を実行します。</p> <p>-ディレクトリを設定済みのインストールディレクトリに変更します</p> <p>- 「auunitref.exe」 コマンドを実行して、設定済みのストレージアレイとの接続を試行します。</p>
<p>エラー：設定エラー：ストレージアレイがインベントリから報告されません</p>	<p>Command View サーバで、該当するストレージアレイが設定されているかどうかを確認します</p>
<p>エラー：</p> <p>* Storage Navigator Modular 2 CLIに登録されているアレイがありません</p> <p>*アレイがStorage Navigator Modular 2 CLIに登録されていません</p> <p>*構成エラー：ストレージアレイがStorage Navigator Modular CLIに登録されていません</p>	<p>*コマンドプロンプトを開き、設定したパスにディレクトリを変更します</p> <p>* 「SET=STONAVM_HOME=」 コマンドを実行します。</p> <p>* 「auunitref」 コマンドを実行します。</p> <p>*コマンド出力にIPを持つアレイの詳細が含まれていることを確認します</p> <p>*出力にアレイの詳細が含まれていない場合は、ストレージナビゲータCLIにアレイを登録します。</p> <p>-コマンドプロンプトを開き、設定したパスにディレクトリを変更します</p> <p>- 「SET=STONAVM_HOME=」 コマンドを実行します。</p> <p>-コマンド 「auunitaddauto-ip\$ {ip} 」を実行します。\$ { IP } を実際の IP に置き換えてください</p>

追加情報はから入手できます ["サポート"](#) ページまたはを参照してください ["Data Collector サポートマトリックス"](#)。

# HPE Alletra 6000 データコレクタ

HP Enterprise Alletra 6000（以前の Nimble）データコレクタは、Alletra 6000 ストレージアレイのインベントリデータとパフォーマンスデータをサポートしています。

## 用語集

Cloud Insights では、このコレクタから次のインベントリ情報を取得します。Cloud Insights では、取得したアセットのタイプごとに、そのアセットに使用される最も一般的な用語が表示されます。このデータコレクタを表示またはトラブルシューティングするときは、次の用語に注意してください。

ベンダー / モデルの用語	Cloud Insights の用語
配列	ストレージ
ディスク	ディスク
ボリューム	ボリューム
プール	ストレージプール
イニシエータ	ストレージホストのエイリアス
コントローラ	ストレージノード
Fibre Channel インターフェイス	コントローラ

注：これらは一般的な用語の対応のみを示したものであり、このデータコレクタのすべてのケースを表しているわけではありません。

## 要件

ストレージアレイからインベントリデータと構成データを収集するには、次の情報が必要です。

- アレイがインストールおよび設定されていて、クライアントから完全修飾ドメイン名（FQDN）またはアレイ管理 IP アドレスを使用して到達できる必要があります。
- アレイで NimbleOS 2.3.x 以降が実行されている必要があります。
- アレイに対する有効なユーザ名とパスワードが「Operator」レベル以上のロールで設定されている必要があります。「ゲスト」ロールには、イニシエータの設定を理解するための十分なアクセス権がありません。
- アレイのポート 5392 が開いている必要があります。

ストレージアレイからパフォーマンスデータを収集するには、次の情報が必要です。

- アレイが NimbleOS 4.0.0 以降を実行している必要があります
- アレイにはボリュームが設定されている必要があります。NimbleOS がボリュームに対して実行できるパフォーマンス API は 1 つだけであり、Cloud Insights の統計レポートはボリュームの統計から導き出されます

## 設定

フィールド	説明
アレイ管理 IP アドレス	Fully Qualified Domain Name （ FQDN ；完全修飾ドメイン名）またはアレイ管理 IP アドレスです。
ユーザ名	アレイのユーザ名
パスワード	アレイのパスワード

## 高度な設定

フィールド	説明
ポート	Nimble REST API が使用するポート。デフォルトは5392です。
インベントリポーリング間隔（分）	インベントリのポーリング間隔。デフォルトは60分です。

注：デフォルトのパフォーマンスのポーリング間隔は 300 秒で、変更することはできません。HPE Alletra 6000 でサポートされている唯一の間隔です。

## 著作権に関する情報

Copyright © 2024 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S. このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

## 商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。